

償却資産申告書の記載例

・住所、氏名及び取得価額（前年前に取得したもの（イ））は、昨年までの申告に基づいて印字しています。（令和7年10月31日時点）
・印字してある内容に変更がある場合は、抹消線を引き、余白に正しい内容を記入してください。

令和 8 年度
償却資産申告書（償却資産課税台帳）

令和 8 年 1 月 21 日
飛 島 村 長 殿

住所・氏名
印字の内容を修正する場合は、ふりがなをふってください。
また、ビル等に入居している場合は、ビルの名称、階段及び部屋番号を記入してください。

受付印

1 住所
納税通知書送付先
電話番号

2 公簿上の住所又は所在地
氏名
法人にあってはその名称及び代表者の氏名
屋号

3 公簿上の生年月日又は設立年月日

4 個人番号又は法人番号

5 事業種目

6 資本金又は出資金の額

7 事業開始年月

8 この申告に回答する者の係及び氏名
電話番号

9 税理士等の氏名
電話番号

10 短縮耐用年数の承認

11 増加償却の届出

12 非課税該当資産

13 課税標準の特例

14 特別償却又は圧縮記帳

15 税務会計上の償却方法

16 青色申告

資産の種類
1 構 築 物
2 機 械 及 び 装 置
3 船 舶
4 航 空 機
5 車 両 及 び 運 搬 機 具
6 工 具 、 器 具 及 び 備 品
7 合 計

前年前に取得したもの
前年中に減少したもの
前年中に取得したもの
計

4,769,000
1,800,000
2,250,000
5,219,000
3,450,000
24,500,000
32,719,000
1,800,000
3,950,000
34,869,000

資産の種類
1 構 築 物
2 機 械 及 び 装 置
3 船 舶
4 航 空 機
5 車 両 及 び 運 搬 機 具
6 工 具 、 器 具 及 び 備 品
7 合 計

※ 評 価 額
※ 決 定 価 格
※ 課 税 標 準 額
数 量

電算申告により申告書を作成される場合は記入してください。

市(区)町村内における事業所等資産の所在地
① 飛島村木場二丁目3番地
②
③

借用資産
貸主の名称等
愛知県海部郡飛島村大字 松之郷三丁目46番地の1 飛島リース株式会社

19 □ 資産に増減なし
20 □ 該当資産なし
21 □ 転出・廃棄・解散・その他
22 備考（添付書類等）

《事業種目》
事業種目を記入してください。
事業種目が複数ある場合には、主たる事業種目を記入してください。
また、法人の場合、資本金または出資金等の金額

《事業開始年月》
個人の場合は事業を開始した年月、法人の場合は当該法人の設立年月を記入してください。

《事業開始年月》
短縮耐用年数：「承認通知書」の写を添付
増加償却：「届出書」の写を添付
非課税該当：非課税適用申告書」を提出
課税標準の特例：「特例適用申告書」と「その事実を

《事業所等の所在地》
「1」の欄の住所と資産所在地が異なる場合、または飛島村内に複数の事業所等、資産所在地がある場合は必ず資産所在地を記入してください。
また、事業用家屋の所有区分について、該当する

《借用資産》
リース資産等の借用資産の有無を記入します。
また、「有り」の場合は、貸主（リース会社等）の氏

《備考》
次のような事項を記入してください。
・課税標準の特例の適用資産または非課税資産を所有されている場合は、その届出書等の名称
・増加償却を行った場合は、その届出書等の名称
・耐用年数の短縮等を適用した資産を所有されている場合は、その承認通知書等の名称
・前年中に資産所在地、所有者の住所、氏名または名称等に異動があった場合は、異動年月日、旧資産所在地、旧住所、旧氏名または旧名称等を記入してください
・相続があった場合は、相続により取得された方の住所・氏名により申告し、備考欄に「被相続人〇〇より相続」と記入してください
・その他、この申告に必要な事項及び償却資産の評価について参考となる事項

（イ） 前年前に取得したもの
令和7年1月1日以前に取得したもの
※申告漏れや移動により受け入れた資産については（イ）ではなく（ハ）に記入してください。

（ロ） 前年中に減少したもの
令和7年1月2日から令和8年1月1日までに減少したもの。
（例えば、廃止、除却、他市町村へ転出した資産）

（ハ） 前年中に取得したもの
令和7年1月2日から令和8年1月1日までに取得したもの。
前年中に取得した資産の取得価額を資産の種類別に合計して記入してください。

（ニ） 計
種類別明細書の加除修正した後の取得価額と同じになります。

（注）
上記（ロ）・（ハ）には、種類別明細書に記入した前年中に減少または増加した資産の取得価額の合計額を、資産の種類別に記入してください。
申告漏れや、移動により受け入れた資産も（イ）ではなく、（ハ）に記入してください。

1 / 3 ページ

種類別明細の記載例

《留意事項》

毎年申告している場合

前年申告された方は、
・令和7年1月2日から令和8年1月1日までに減少した資産
・令和8年1月1日以前に減少した資産で、申告する必要のある資産を、
下の記入例に従って修正してください。

《資産の名称等》

資産の名称及び規格
等を記入してください。
表示できる文字は20文字
までです。

《取得価額》

資産を取得するために支出した
金額又は支出すべき金額(付
帯費用を含みます。)を記入し
てください。
また、取得価額が20万円未満
であっても、個別に減価償却し
ている資産は申告してください。
なお、圧縮記憶は、固定資産
税の評価上、認められていま
せんので、圧縮記憶を含めた取得
価額を記入してください。

《耐用年数》

耐用年数を記入してください。
耐用年数(特定附帯設備を含む)は原則と
して法人税又は所得税の申告で用いるもの
と同じ耐用年数を使用してください。
ただし、
1 中古資産について、見償耐用年数
によっている場合は、その耐用年数
を記入してください。
2 短縮耐用年数を適用している場合
は、短縮された耐用年数を記入して
ください。

所 有 者 名		枚 数	枚 目	
飛鳥〇〇株式会社		1 枚のうち	1 枚 目	

行 番 号	異 動 区 分 (注1)(注2)	資 産 の 種 別	物 件 番 号	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月 (注3) 年 月	元 日 取 得 (注4)	(イ) 取 得 価 額 (注5)	(ロ) 耐 用 年 数	(ハ) 減 価 残 存 率	(ニ) 価 額	(ヘ) 課 税 標 準 額 の 特 例 率 コード	(ホ) 課 税 標 準 額	増 減 事 由 (注6)	摘 要
01	2	2		溶接機	1	4 4 10		600 000	15	0.				4	R5. 11 除却
02		2		洗車システム	1	3 58 6		280 000	15	0.				1	
03	3	2		コンプレッサー	1	5 6 11		180 000	15	0.				6	R5. 3 一部廃棄
04		2		オイルポンプ	1	5 4 10		360 000	15	0.				6	
05		2		洗浄機	1	5 2 3		578 000	15	0.				6	
06		2		屋外監視センサー	1	4 20 3		540 000	8	0.				1	
07		5		油圧ショベル	1	4 20 5		350 000	6	0.				1	特例; 附則第 15条第49項
08		5		フォークリフト	1	5 5 4		250 000	4	0.				1	
09		5		フォークリフト	1	4 10 4		548 000	4	0.				1	
10		6		空調	1	5 3 10		180 000	10	0.				1	
11									0.						
12									0.						
13									0.						
14									0.						
15									0.						
16									0.						
17									0.						
18									0.						
19									0.						
20									0.						
小 計 12					11			3,729,000							
								3,266,000							

注○と記載のある欄についてはこちらの説明文に従って記入してください。

- 注意1 「異動区分」の欄は、1 増加、2減少、3訂正 のいずれかの数字をご記載ください。
注意2 「資産の種類」の欄は、1 構築物 2 機械及び装置 3 船舶 4 航空機 5 車両及び運搬具 6 工具、器具及び備品 のいずれかの数字をご記載ください。
注意3 「取得年月」の欄は、3 昭和 4 平成 5 令和 のいずれかの数字をご記載ください。
注意4 「元日取得」の欄は、元日(1月1日)に取得した場合は1をご記載ください。
注意5 「処理方式」が「一般処理」の場合、「異動区分」が2減少の資産について、「(イ)取得価額」は減少後の「取得価額」(「(ロ)全部減少の場合は0」が入ります)をご記載ください。
注意6 「増減事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 売却、4減少、5移動、6その他 のいずれかの数字をご記載ください。

帳票識別コード	
申告区分	<input type="checkbox"/> 当初申告 <input type="checkbox"/> 修正申告
処理方式	<input type="checkbox"/> 一般処理 <input type="checkbox"/> 電算処理
申告書等送付番号	

第二十六号様式別表一（提出用）（用紙日本産業規格A4・草）（第十四条関係）

該当する方に「/」を入れてください。

《摘要》

- 当該資産にかかる特記事項として、次のような事項を記入してください。
1. 資産が減少した場合は、その年月と理由、減少前の取得価額
 2. 課税標準の特例がある資産については、その適用条項（例 法附則第16条第9項）
 3. 他の市町村からの移動等により受け入れた資産については、移動前の所在地と年月
 4. 耐用年数の変更があった場合は、その旨の表示
 5. 増加償却・耐用年数の短縮・中古資産の見償耐用年数を適用している資産については、その旨の表示
 6. ナンバープレートの交付を受けている大型特殊自動車については、そのナンバープレートの番号
 7. その他、当該資産の評価に必要な事項

種類別明細書の記載例

《留意事項》

2014年12月10日

・令和8年1月1日以前に増加、減少した資産で、申告する必要のある資産

飛島村に初めて申告する場合

飛鳥村に初めて申告される方は、令和8年1月1日現在所有している全て

《資産の名称等》

《取得価額》

また、取得価額が20万円未満であっても、個別に減価償却し

《耐用年数》

1 中古資産について、見積耐用年数

11-1-1

所 有 者 名	1 枚のうち
飛島○○株式会社	1 枚 目

振替票識別コード	
申告区分	<input type="checkbox"/> 当初申告 ・ <input type="checkbox"/> 修正申告
処理方式	<input type="checkbox"/> 一般処理
申告書等送付番号	

● 第 該当する方に「✓」を入れてください。

[illegible]

《記入する必要はありません》

注○と記載のある欄についてはこちらの説明文に従って記入してください。

注1 「異動区分」の値は、1増加、2倍、3以上のいずれかの数字をご記載ください。
注2 「貨物の種類」は、1 特殊物、2 機械及び器具、3 船舶、4 航空機、5 車両及び運搬具、6 工具、器具及び備品、のいずれかの数字をご記載ください。
注3 「取得年月」の月番号は、3 昭和4年、5 令和元年のいずれかの数字をご記載ください。
注4 「元日取得」の値は、元日(1月1日)に取得した場合は0とご記載ください。
注5 「減価率」は減少後の金額、「取得後の減価率」は減少後の「取得価額」(前年度末の減少後は 0_0 が入ります)を、「摘要」の欄に減少後の「取得価額」をご記載ください。
注6 「増減事由」の値は、1 新品取得、2 中古品取得、3 売却、4 滅失、5 移転、6 その他 のいずれかの数字をご記載ください。

《摘要》

1. 資産が減少した場合は、その年月
と理由、減少前の取得価額

ては、その適用条例
(例 法附則第15条第9項)

4. 耐用年数の変更があった場合は、
その旨の表示

る資産については、その旨の表示

6. ナンバープレートの交付を受けて

7. その他、当該資産の評価に必要な

第二十六号様式別表二（提出用）
（用紙日本産業規格A4・赤色）
（第十四条関係）